

第3回かわまちづくり協議会

議事要旨

開催概要

日時：2023年1月24日 13:30～15:00

場所：木曽川下流河川事務所 会議室

出席者：

顧問	： 伊藤 徳宇	桑名市長
顧問	： 大坪 祐紀	木曽川下流河川事務所長
会長	： 平野 勝弘	副市長
副会長	： 森下 充英	桑名商工会議所専務理事
委員	： 齋木 雅邦	木曽川下流河川事務所副所長
委員	： 佐藤 強（代理：水越氏）	桑名ブランド協議会会長
委員	： 水谷 文人	桑名市観光協会会長
委員	： 佐藤 博之	桑名市商店連合会会長
委員	： 横井 健佑	東部商研会長
委員	： 水谷 将	合同会社くわなラボ代表
委員	： 水谷 忠司	精義地区自治会連合会会長

1. 開会

2. 挨拶

伊藤顧問、大坪顧問より挨拶があった。

3. 報告

(1) 「水辺で乾杯」企画の開催結果について

- ・ 「水辺で乾杯」企画の開催概要と企画開催時のアンケート調査、騒音調査、照度調査について、報告した。
- ・ 今後の利活用を検討する上での目安として、今回の結果を参考にできれば、と考えている。

(2) サウンディング型市場調査の実施状況について

- ・ サウンディング型市場調査の実施状況について、報告した。
- ・ 対象用地は特徴の異なる4つのゾーンに区分している。取り組みにより賑わいが創出され、市内での消費が喚起されることを期待。
- ・ スケジュールについて、エントリーシートと提案募集の締め切りは、今年度末(3/31)とする。
- ・ 現在までに民間事業者から2つの提案が出されており、精査中である。

(3) 若手プロジェクト会議の設立に向けて

- ・ 若手プロジェクト会議の設立について、報告した。
- ・ 賑わいのポテンシャルを秘めたこの場所にプラスアルファの価値をつける方法を考え、計画を立てていこうとするプロジェクトである。

- ・ 桑名市で働く、国・県・市の若手職員と、市内の若手商工事業者がチームになり、住民目線、来訪者目線、地域の魅力や移り変わりを知る等、メンバーの持つ様々な視点で提案を作ろうとしている。

4. 議事

(1) 桑名市かわまちづくり協議会設置要綱の一部改正について

「資料 2-1：桑名市かわまちづくり協議会設置要綱（改正）」について説明があった。

以下、発言要旨

平野会長：ただいまの説明について、ご意見、ご質問等はあるか。質問がなければ、賛成の方は、拍手をお願いしたい。

(拍手多数)

平野会長：要項の改正が承認されたものとする。ここからは、自治会代表として精義地区の連合自治会長の水谷忠司様に入っていただくことでお願いしたい。

水谷委員：みなさんのプロジェクトを参考にし、まちづくりに協力したい。

(2) 「都市・地域再生等利用区域の指定」に向けて

「資料 2-2：桑名市かわまちづくりロードマップ（案）」、「資料 2-3：（参考）都市・地域再生等利用区域について」について説明があった。

以下、発言要旨

平野会長：ただいまの説明について、ご意見、ご質問等はあるか。承認いただける方は拍手をお願いする。

(拍手多数)

平野会長：承認いただけたということで、今年度はこれに沿った形で進める。ご協力をお願いしたい。

(3) サウンディング型市場調査から事業実施に向けて

資料 2-4：サウンディング型市場調査から事業実施へのプロセスについて説明があった。

以下、発言要旨

平野会長：説明について、ご質問等はあるか。

副会長：サウンディング調査はいつまでの予定か。

事務局（市）：年度末の 3 月 31 日までを予定している。随時、ヒアリングを実施していく予定である。

森下副会長：サウンディング調査は来年度もやるのか。

事務局（市）：サウンディング調査の受付については、一旦、年度末で区切る。引き続き、次年度も実施予定で考えている。

森下副会長：説明を聞くと、大変、いい流れの提案をいただいていると思うので、目的を広く周知して、呼びかけていただいた方がよい。一過性ではなく、継続的にやれるということを広く周知をお願いしたい。そのあたり、情報提供、資料提供いただければ、こちらでも団体に案内したい。

事務局（市）：サウンディング結果については HP などに載せる予定である。それを見て新たな事

業者が名乗りを上げることも期待しているので、協力のほど、よろしくお願ひしたい。

ブランド協議会：社会実験をする期間や内容としてイベント的なもの、あるいは常設的なものを考えているのか。四季折々で人の集まり方も変わってくると思う。事業者としては、試してみたいというところであるが、事務局としては、どのように考えているか。

事務局（国）：民間事業者の提案次第というところはあるが、施行する期間としては、区域指定が行われた後は、手続きを踏んで進めることになる。例えば設置型の店舗の提案があり、短い期間では難しいとなった場合、引き続き常設が出来るか検討することを視野に入れている。いろいろなケースがあろうかと思うが、実験後も継続しておけるかどうか等、庁内で検討していきたいと考えている。

ブランド協議会：複数の事業者が手を挙げた場合、複数選定することはあるか。実験は、個々の事業者が主体となるか。協議会が主体になるのか。

事務局（国）：社会実験は利用計画を検討するために行う。協議会としては、事業性などについて社会実験を実施することになる。実際の運営は、手を挙げた事業者にお任せすることになると考えている。

平野会長：ご質問、ご指摘等を踏まえ、仕組みを整えてほしい。サウンディング型市場調査を事業実施していくことについて、承認いただけるか。承認いただける方は拍手をお願いする。

（拍手多数）

平野会長：承認いただけたということで、本事業についてご協力をお願いする。

これ以外に、ご質問等あれば伺うが。

ないようなので、議事については終了し、以降は事務局にお返しする。

事務局（市）：先ほど指摘があったが、行政手続きについては分かり難い面があろうかと思う。調整して分かりやすい形にし、委員のみなさんにご提示したい。

5. その他

（1）アロハラボの開催について

水谷委員（くわなラボ）：地域活性目的の若手女性による企画「アロハラボ」を今年度も開催予定である。これまでに2回開催しており、それぞれ約500人の来場者があった。このイベントにより、河川空間、公園に「なにが必要か」、「どんなことが出来るか」といった思いを持ち、イメージしてやってきている。来場した子供たちが自分たちも何かできるかもしれないと考えることが出来るようなイベントを目指している。詳細が決まり次第、協議会にも資料をお示ししたく思う。ご協力のほど、お願ひしたい。

（2）民間提案による花火大会の開催について

事務局（市）：昨年、3年ぶりに水郷花火大会が開催された。今年も開催予定であるが、民間事業者より、それとは別に花火大会を開催したいとの打診をいただいております、その概要を説明する。花火大会開催については、花火代、会場設営費、周辺の警備等の費用が物価高騰の影響により増大し、その工面が全国的に難しくなっている状況である。今回の提案は、そのような情勢を踏まえた内容である。民間事業者により開催委員会を設立し、企画運営、制作、チケット販売、各種申請書の作成等、従来観光協会が担っ

ていた業務を代行するようになっている。観光協会については、実行委員会としての立場で開催のPRや地元自治会との調整、協賛依頼を行う。資料におおよその予算を示しているが、興行の売り上げの一部を寄付していただく提案となっている。提案書には、社会貢献活動を行うという内容も盛り込まれている。桑名市と観光協会は、実行委員会として河川管理者である国交省に一般的な許認可を申請する形で進めていきたいと考える。

事務局（市）：ただいまの説明について、ご意見、ご質問等はあるか。

この件以外も含め、何かご意見等があれば伺いたく思うが。

水谷委員（観光協会）：住吉浦休憩所周辺について、最近、一帯の盗難・不法投棄が増加している。

一昨年のトラブルにより、防犯カメラの設置が着目されているが、これについて、他の地域ではどうされているのか、国交省にお伺いしたい。

事務局長：河川と公園でそれぞれ違うと思うが、我々は防犯という視点での設置はしていない。河川を管理する上で、災害監視用のカメラの設置をしているが、防犯だけを主目的に設置するようなものは、これまであまり事例がない。

平野会長：まちづくり協議会には各自治会が参加頂いているが、地域に防犯カメラをつけることが最近増えてきているようだ。観光協会や自治会で協議の上となろうが、既存の支柱を使って設置するのが一番早いと思う。そこは協議しながらになるので、傾向としては市内で設置するケースが増えてはいるが、どこが主体でどうしたら設置できるかは詳細をつめさせていただいて、一緒に話をするなかで解消につとめたい。

水谷委員（観光協会）：トイレはきれいではあるが、形が今の時代のトイレにはなっていない。男子トイレを見ながら女子トイレに行く動線であるとか、入りたくても入れない。イベントが多くなって、利用が多くなるが、そのあたり検討いただきたい。

事務局長：ご指摘はごもっともだが、費用もかかることであり関係者と調整が必要な事項と考える。

水谷委員（くわなラボ）：花火大会について。水郷花火大会とは別に実施されることになるのか。その際に、屋台などは出ることになるか。

事務局（市）：まだ、そのあたりの具体の議論はなされていないが、今後、詳細をつめていくなかで要望が出ればその都度協議していきたい。

水谷委員（観光協会）：屋台は無しという話だった。地域のキッチンカーなどを入れたいと聞いている。

事務局（市）：提案いただいている事業者より一つの意見として持っていると同っている。

水谷委員（観光協会）：詳細はまだ決まっていないということか。

事務局（市）：そうだ。

事務局（市）：他に意見が無いようなので、これをもって議事を終了とします。

長時間にわたり、ありがとうございました。

以上